

「メッセージ性」と「多様性」の 相克を越えて

——教育研究に期待するもの——

東北大学高度教養教育・学生支援機構
教授 倉元 直樹

指定討論の視点（1）

- 教育に関する **3つの立場** とその役割
 - 教育行政**：大きな方向性を指し示す存在
現場の **多様性** を捨象した **メッセージ性**
バックボーンとなる教育研究の存在
 - 教育現場**：**目前の課題** を解決する存在
限られた条件の中，個別の目標設定と工夫
教育研究？？？

指定討論の視点（2）

- 大学入試を巡る政策的な流れ
 - 臨時教育審議会（80年代）：個性重視の原則
 - 大学入試では、以後多様化が錦の御旗
 - 教育行政に課せられた困難な課題
 - 個性（=多様性）を持った教育現場に教育政策という一律のメッセージを出さなければいけないという矛盾を抱えることに

教育政策と教育現場のきしみ（1）

- 政策的メッセージの プロトタイプ
典型的に 当てはまる現場
メッセージの適用範囲から こぼれる現場
- 「学力の3要素」の何が課題なのか？
「学力の3要素」の どの部分 が課題か？
本当に 「学力の3要素」 が最優先課題か？

教育政策と教育現場のきしみ（2）

- **非典型事例** としての東北大学の入試
- 東北大学：積極的に**入試改革を先導**
東北大学型AO入試 の開発と確立
高大接続改革：募集人員比18% → 30%
- 大学入学共通テストへの記述式問題導入
採点日程 の問題 → 一部が**実施不可能** に

教育政策と教育現場のきしみ（3）

- 教育現場の解釈：
自分たちへの否定、過酷なペナルティー
← 深刻な教育行政不信 という危機
- 東北大学：
入試の実務は教育現場そのもの
東北大学入試センターには教育研究機能

教育政策と教育現場のきしみ（４）

- 研究の力：

政策の流れ、記述式問題導入の背景、高校のニーズ等の分析に威力を発揮

政策が東北大学の個別性に対応できていない

→ 状況にカスタマイズされた工夫で対応

- A O入試Ⅲ期（１次にセンター試験利用）

第1次選考の原則廃止、自己採点利用方式導入

教育政策と教育現場のきしみ（5）

- A O III期(2021)の予告
 - 第2次選考はセンターから提供された成績で
 - 第1次選考は原則廃止
 - やむを得ず実施 → 自己採点利用方式
 - 教科・科目別での申告、記述式は除く
 - 公平性を保つ措置を加えることを検討
 - 状況が変化 → 改めて対応を検討する

教育政策と教育現場のきしみ（7）

- 高校教育現場の個別性とその困難
高校教員：○教育者、×研究者
→ 視野にあるのは目の前の現実
教育政策 → 自分が関わる問題との対比
- 非典型事例の悪いシナリオ
問題の誤認識 → 積み上げた実践の放棄
条件が未整備 → 無理をして状況が悪化

教育政策と教育現場のきしみ（8）

- 目の前の問題解決につながらない政策
→ **教育行政不信、形式的対応**
- 目的と実践の乖離
→ タブー（隠れた真実）の発生と増殖
隠れたカリキュラムとしての悪影響
- **教育研究の発信** に課題があるのでは？

教育研究への期待

- 理論・方法：オールマイティ はあり得ない
- 効果を上げるための 前提条件の明示 を！
教育現場で適切な判断が可能に：
直接適用可能？無関係？条件整備が先？
- 教育政策的教育研究の難しさ
 - 個別大学：限定された範囲の有効性でよい
 - 教育政策的研究：広範囲の個別性 への配慮

各話題提供者への質問（1）

- 山田泰造氏へ

- 個性重視の原則：

- 個々の受験生 の利益の最優先の確認

- 大学入試における 大学の自律性 の確認

- 松下佳代氏へ

- コンピテンシー論 の適用範囲は？

- 論証モデル の適用範囲は？

各話題提供者への質問（2）

• 市川伸一氏へ

- 最大の問題は時間不足にあるのでは？
- 授業方法の転換自体が目的なのか？
- 入試と授業改善は一体ではないか？

• 荒瀬克己氏へ

- 教育現場のミッションの多様性は？
- 学びの基礎診断の有効性の範囲と前提条件は？

ご清聴ありがとうございました

活発なご議論を！